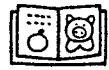


小俣図書館 図書館行事 ご案内

おはなし会 1階・おはなしのへや

3月 13日(土) たんぽぽ読書おはなし会、午後3時～

3月 21日(日) ビッポの会・紙芝居、午前11時～



★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

3月 11日(木) 午前11時～

◆映画上映会 2階・視聴覚室

3月20日(土) 午後2時～

第81回アカデミー賞 外国語映画賞受賞

「おくりびと」

監督：滝田 洋二郎

主演：本木 雅弘

2008年 《上映時間 131分》

★図書館おはなし会&工作教室

(1階・おはなしのへや)



(日時) 3月27日(土) 午後3時～

(対象) 3歳～小学生(工作教室では、就学前の子どもは保護者同伴)

(内容) 卵のおはなしを読んだ後、卵の殻に絵を描く工作

(エッグ・アート)をします。参加自由です。

開館時間 月・水・木・金・土・日 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日

第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内

(10冊のうち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内

(50冊のうち雑誌は25冊まで)



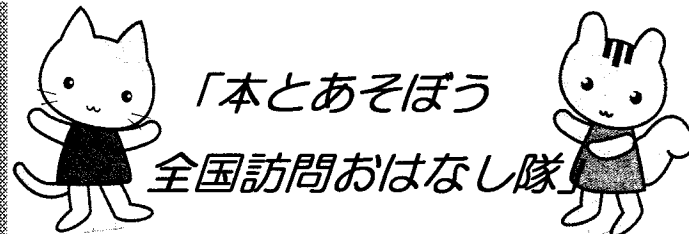
小俣図書館カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



「本とあそぼう」
全国訪問おはなし隊

(日時) 3月22日(月)

午前10時～10時30分 キャラバンカー見学

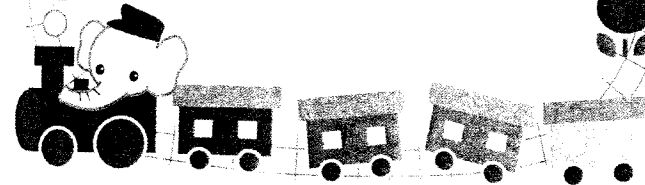
◎午前10時35分～11時5分 おはなし会

(内容) 楽しい「おはなし」をたくさん載せて、「おはなし隊」のキャラバンカーが小俣図書館にやってきます。

おはなし隊メニューは、紙芝居、絵本の読み聞かせ、自由読書(キャラバンカーに積んだ各社の児童書を自由に読むことができます)などになります。

(場所) 小俣図書館

※申込みは不要です。



伊勢図書館 図書館行事のご案内

「おはなし会」

毎週土曜日 午後2時30分～

1階・おはなしコーナーにて

毎週、絵本の読み聞かせ等をやっています!

3月6日/おにいさん、おねえさんによるおはなし会

3月13日・20日・27日/おはなしプーさんによるおはなし会

「あかちゃんえほんのじかん」

(日時) 3月25日(木) 午前11時～ 2階・視聴覚室

(内容) あかちゃんむけの絵本の紹介や手遊びなどをします。

「映画上映会」

3月14日(日) 午後1時30分～

2階・視聴覚室

『嘘つきヤコブ』 《字幕》

《上映時間 96分》 ◆1977年度アカデミー賞最優秀外国映画賞推奨作品



開館時間 月・火・木・金・土・日 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜日

第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊 2週間以内

(10冊のうち雑誌は5冊まで)

1団体50冊 1ヶ月以内

(50冊のうち雑誌は25冊まで)

伊勢図書館カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

「春休み子ども映画会」

3月28日(日) 午後1時30分～ 2階・視聴覚室

『三人の騎士』

《ディズニーアニメーション・日本語吹替版》

《上映時間 70分》



「ピアノの詩人 ショパン」

—生誕200年記念展示—



日時: 3月1日(月)～30日(火)

場所: 伊勢図書館 1階・特設コーナー

内容: 2010年は作曲家ショパンの生誕 200 年にあたる記念の年。39年の短い生涯を、作曲とピアノ演奏で駆け抜けたピアノの詩人の素晴らしい音楽が世界中で鳴り響きます。そこで伊勢図書館ではショパンの名曲が生まれた背景や心情に迫る本や、彼が力を注いだ音楽に関する本をご紹介します。本を紐解きながらクラシック音楽の世界にひたってみませんか。

「インターネット予約のお知らせ」

◆4月1日(木)からスタートするインターネット予約のお申込みを受け付けています。詳しくは図書館カウンターでお尋ねください。

*伊勢図書館・小俣図書館共通です。



本のごあんない

〔一般書〕 「桜」



春の訪れとともに、いっきに花を咲かせ潔く散る桜。桜をテーマにした本をそろえてみました。読み物だけでなく、図鑑もあわせてどうぞ。

- ◎ なぜ日本人は桜の下で酒を飲みたくなるのか？ (西岡秀雄／著 PHP 出版社)
- ◎ サクラハンドブック (大原隆明／著 文一総合出版社)
- ◎ 桜 1.2 (有岡利幸／著 法政大学出版社)
- ◎ いきもの前線マップ さくらはいつ咲く？カエルはいつ鳴く？ (今終黎靖夫／著 技術評論社)
- ◎ 桜が創った「日本」 ソメイヨシノ起源への旅 (佐藤俊樹／著 岩波書店)
- ◎ この桜、見に行かん 日本の桜ベスト 30 (宮嶋康彦／著 文芸春秋)
- ◎ 京のさくら紀行 わたしが案内するさくらめく京都 (淡交社)
- ◎ 桜守二代記 (佐野藤右衛門／著 講談社)
- ◎ 桜の園シト姉妹 (チェーホフ／著 神西清／訳 新潮社)
- ◎ さくら (西加奈子／著 小学館)



〔児童〕 「からだのふしぎ」

「おへそがあるのはどうして?」「くしゃみはなぜでるの?」からだのふしぎの本から、体操やからだをつかったゲームの本、「顔が広い」「目うつりする」など、からだに関することばの本、あたまがゴムでできているおとこのこ!?おばあさんが若返る!おはなしなどなど。今月はからだの特集です。

- ★ **かこさとしあそびの大星雲 7 くしゃみやおへそをあそび 体と病気のなやみ問題**
(かこさとし／絵と文 農山漁村文化協会)
- ★ **あなたのはな** (ポール・シャワース／文 ポール・ガルドーン／絵 松田道郎／訳 福音館書店)
- ★ **からだの不思議 ヒトの体を探検しよう 休みなく働く60兆の細胞**
(石垣武男／著 誠文堂新光社)
- ★ **からだのふしぎしつもんばこ** (すがわらけいこ／絵 辻山タカ子／監修 学研)
- ★ **からだであそぼう15** (竹井史郎／作 きやんみのる／絵 くもん出版)
- ★ **知っているときっと役に立つ からだの慣用句クイズ 141** (波多野総一郎／著 黎明書房)
- ★ **頭のうちところが悪かった熊の話** (安東みきえ／作 下和田サチヨ／絵 理論社)
- ★ **いたずらおばあさん** (高橋方子／作 千葉史子／絵 フレーベル館)
- ★ **さるのせんせいとへびのかんごふさん** (穂高順也／文 荒井良二／絵 ビリケン出版)
- ★ **ゴムあたまポンたろう** (長新太／作 童心社)

★伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。
ご利用館にない場合は、予約ができます。

〔ヤングアダルト〕 空を飛ぶ

空を見上げると、鳥たちが気持ちよさそうに空を飛んでいます。みなさんも鳥みたいに空を飛べたら素敵だろうな、どこへ行こうかな、と考えたことはありませんか?今回は空を飛んでととても素敵な出会いをした魔女の話や、どうしても空を飛びたかった人たちの話など、色々な空を飛ぶものの出会いや思いをご紹介します。

〔児童〕

- ☆ **飛びたかった人たち** (佐々木マキ／作 福音館書店)
- ☆ **魔女のたまご**
(マデライン・エドモンド／作 ケイ・シューロー／絵 掛川恭子／訳 あかね書房)
- ☆ **風にのってきたメアリー・ポピンズ**
(P.L.トラヴァース／作 林容吉／訳 岩波書店)
- ☆ **とぶ船** (ヒルダ・ルイス／作 石井桃子／訳 岩波書店)
- 【一般】
- ☆ **野鳥の羽ハンドブック** (高田勝／著 叶内拓哉／著 文一総合出版)
- ☆ **空を飛ぶサル?ヒヨケザル** (片山竜峯／編著 八坂書房)
- ☆ **宇宙日記 ディスカバリー号の15日 生命の輝きに満ちたこの星で** (野口聡一／著 世界文化社)



〔ふるさと〕 神宮御菌 (じんぐうみその)

胡蘿蔔 (こらふく)

神宮では“神饌”として頻りに用いられる人参を今もなお古語でこうよびます。

“神饌” 神様に召し上がっていただくお食事です。

神饌という語は主として明治時代になって用いられた語で、古くは神様にお供えする飲食物は御饌・御食(みけ)とか御贅(みにえ)といい、神宮では「おもの」ともいったそうです。

神饌の基本は「御酒(みき)・御食(みけ)・御塩・御水」

御酒は和楽の妙薬、御食にはなくてはならぬ食物です。

神宮では一年間に千五百以上の祭事が行われています。その中で最も大切なものが神饌です。祭事の多くが五穀豊穡を祈るもの。神饌は祭中の中心を成すものでありお祭りの本義とも言えます。

神宮御神田からさらに五十鈴川を下り二見町溝口に神様専用の野菜、果物を栽培している「御菌」があります。五十鈴川の清水と有機肥料で育てられる四季折々の野菜、果物は七十種以上にも及び、職員は毎朝身を清め白衣をつけて畑に出ます。

三月春分の日「大地の恵みが豊かでありますように」と祈りをこめて「御菌祭」が行われます。

- ◆伊勢神宮の衣食住 (矢野憲一／著 東京書籍株式会社 L174/ヤ)
- ◆神々の饗 太陽と土と海の恵み (辻嘉一／対談 高橋忠之／対談 柴田書店 L174/ツ)
- ◆増補 大神宮叢書 7 神宮神事考證 前篇 (御坐清直／著 吉川弘文館 L174/タ/7)
- ◆伊勢の大神 (上田正昭／編 筑摩書房 L174/イ)

